

「メンバーのつながり」機能

ご自身や自部署メンバー個人のつながりの変化や伸び代を月次データで振り返ることができ、メンバーのフォローや1on1などのコミュニケーションに活用できます。

つながりダッシュボード

メンバーの月次の変化やつながりの伸び代が一目でわかる

新しいつながりや部署内で関係性が薄い孤立メンバーの把握など、1on1や入社後のフォローに活用できる情報を収集できます

つながりマップ

メンバーの関係性やコミュニケーション状態を俯瞰できる

特定の部署やメンバーと関係性の深いハブ人材を把握し、部署間交流の促進やアサイン検討の参考材料として活用できます。



各関係者が活用できるつながりデータ

業務上のつながりだけでなく、他者への共感・助け合いなど普段見えない個々の関係性が見えるので**従業員・管理職・人事 / 経営層**それぞれが活用できます。

従業員

タイムラインでは気づけない意外なつながりやつながりの伸び代を知れるため、**自分自身の行動の振り返りやメンバー間の相互理解・関係性を深めるきっかけに活用できる**



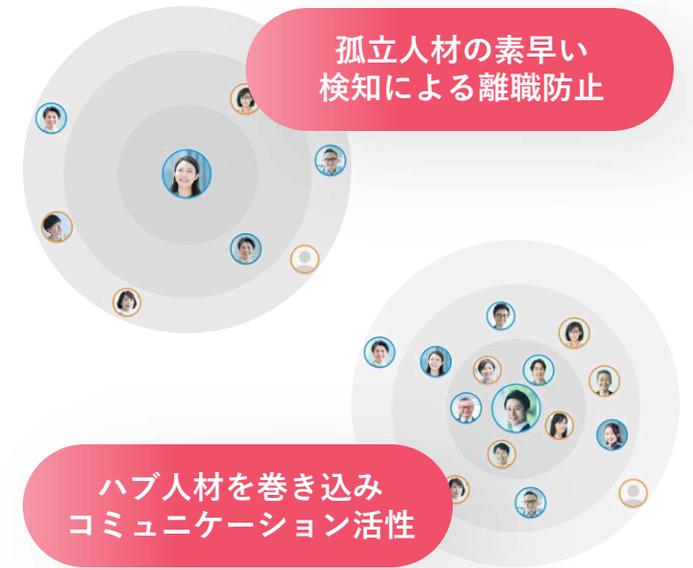
管理職

見えづらかったメンバー個々の貢献や仕事における関係性、変化が一目でわかり、**lonIなどの従業員フォローに活用できる**



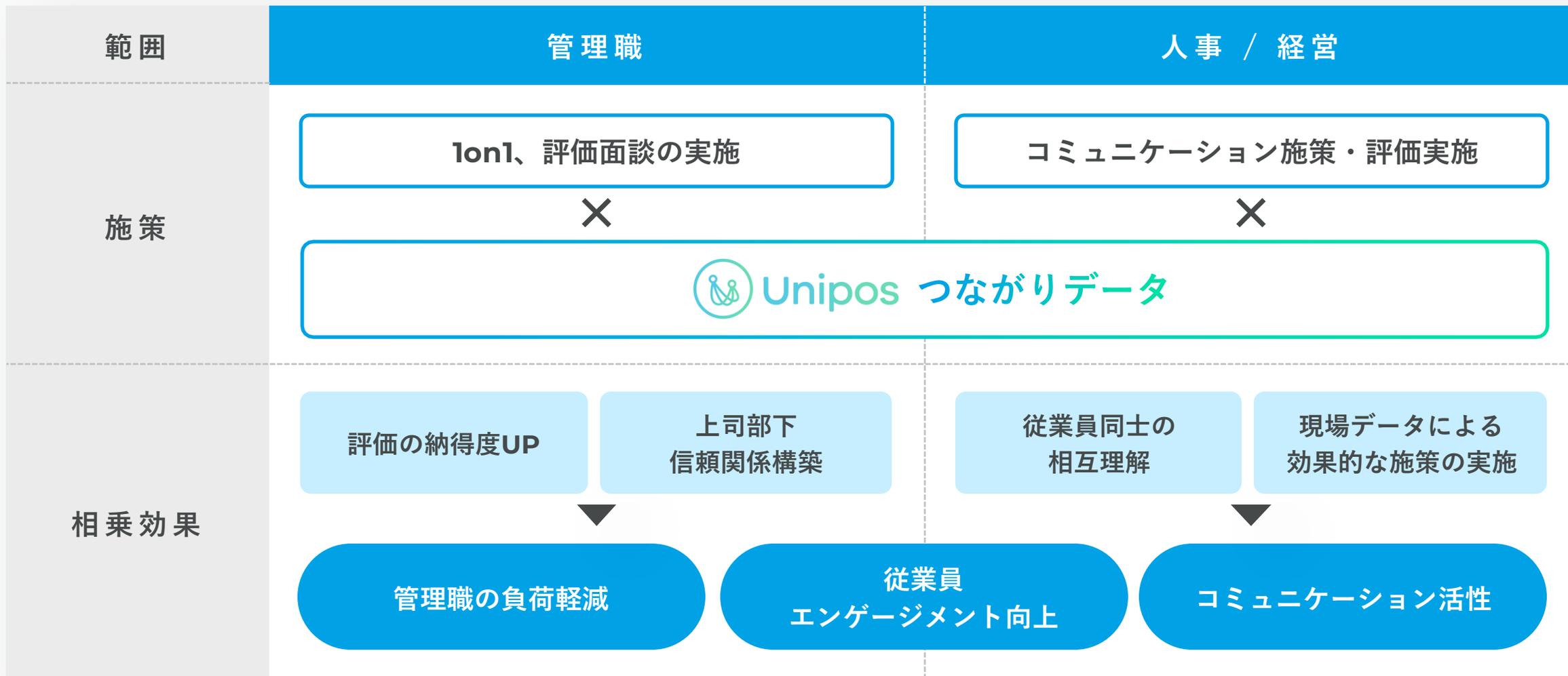
人事 / 経営層

組織のハブ人材や孤立人材が把握でき、**コミュニケーション施策や評価などの人事施策に活用できる**



メンバーのつながり×人事施策の相乗効果

他の人事施策にも良い影響が生まれ、カルチャー変革がより促進されます。



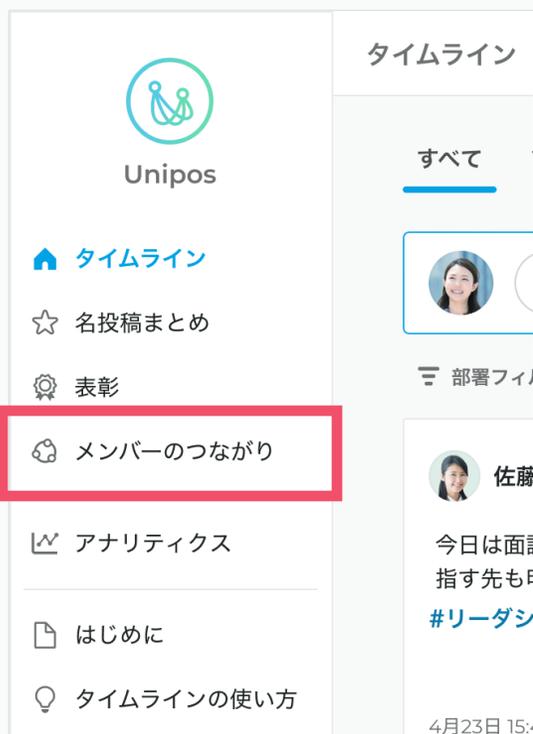
メンバーのつながり

投稿・拍手の送りあい回数を参考にした自部署メンバーのつながりを確認できます。

<https://unipos.me/connections/dashboard>

Step 1

「メンバーのつながり」をクリック



Step 2

一覧から自分または自部署のメンバーのつながりを確認



自身の行動を振り返る

- 新しいつながりに意外なメンバーがいる
- 最近つながっていない自部署メンバーがいる



〇〇さん、こんなに応援してくれてたんだ！
最近、チームやPJのメンバーに
感謝や称賛の気持ち伝え忘れてたな

いつも自分を応援してくれているサポーターや最近感謝・称賛の気持ちを伝えられていなかったメンバーの存在を振り返ることで、コミュニケーションを深める・投稿や拍手をおくるきっかけになります。

チームメンバーを知る

- 他部署メンバーとの密度が高い
- 特定部署メンバーとのつながりが近い



〇〇さんに相談できると良さそうだ！

普段見えない自部署メンバーの関係性や、身近で頼りやすいメンバーが誰か把握できるので新メンバーがチームに馴染みやすく、安心して周囲に相談できます。

1on1や評価の事前情報を収集

- 普段関わらない他部署のメンバーと新しいつながりが生まれている

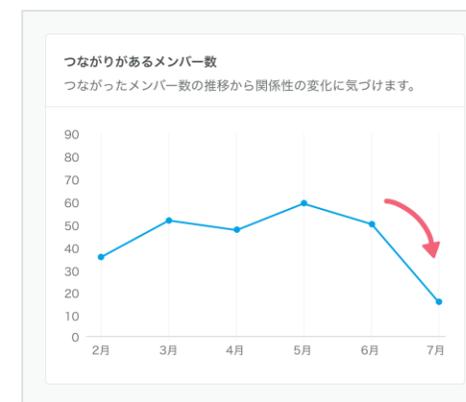
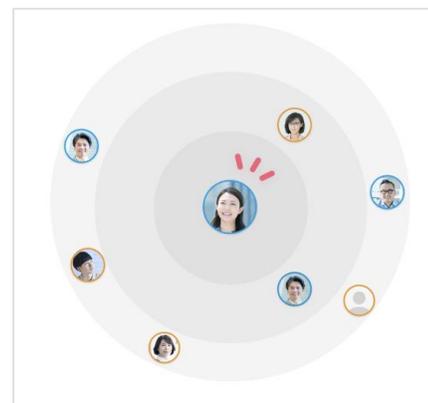


最近、〇〇さんと頑張ってくれてたね

つながりから、普段は見切れない部下の働きぶりや関係性を把握した上で面談・フィードバックをしてもらえるので、メンバー自身も納得感が高まります。

フォローが必要なメンバーを把握

- 周囲のメンバーとのつながりが遠い、密度が低い
- つながりのあるメンバー数が急低下した



先月、〇〇みたいだけど大丈夫？

メンバーの周囲と関係性の変化を察知し、メンバー自身も素早くフォローしてもらうことができるので新メンバーもチームに馴染みやすく、安心して働くことができます。

アサインの参考材料に活用

- 特定部署のメンバーとつながりが近い
- 他部署のメンバーと多くつながっている



プロジェクトや部署間交流の
ハブとして期待してるよ！

個々の関係性を俯瞰できるので、特定部署・メンバーとのつながりの多さ・深さからメンバー個々の特性や興味関心を活かした適切なアサイン・期待値調整ができます。

コミュニケーションの偏りを把握

- 自部署のメンバーとのつながりが遠い
- 最近つながっていない自部署メンバーがいる

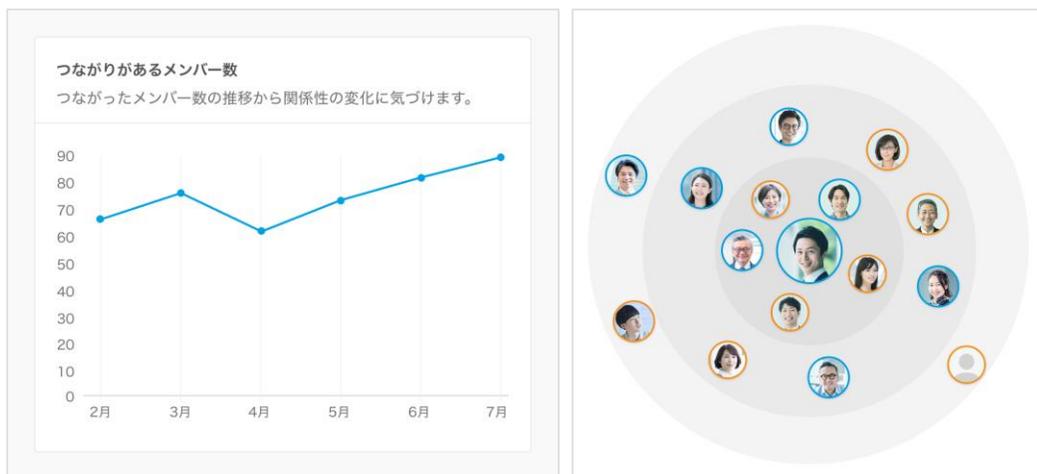


最近▲▲さんとの関わりが薄くなっていたから
今度いつもの感謝を伝えてみようかな

感覚頼りになりがちなコミュニケーションの偏りを振り返れるので、チーム全体を見てメンバー一人一人に公正なコミュニケーションや対応を行うことができます。

ハブ人材の活用

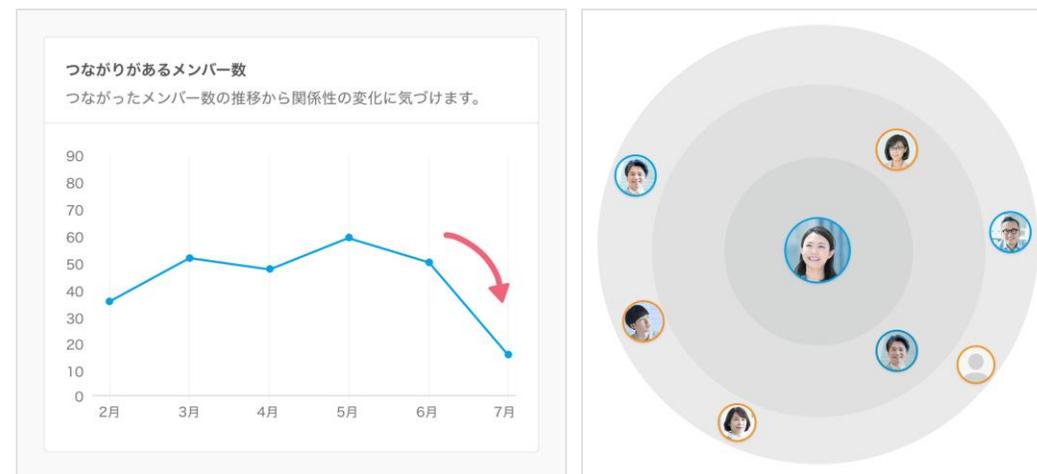
- つながりのあるメンバー数が多い
- 自部署・他部署とのつながり密度が高い



特定の部署や組織に影響力の強いハブ人材を巻き込み、旗振り役やコミュニケーションハブを担ってもらうことで社内施策や部門間連携が効果的に進められます。

孤立人材の把握

- つながりのある人数が少ない・極端に減った
- 自部署とのつながり密度が低い



異動後のメンバーや新入社員が人間関係に馴染めない・周囲に相談できないなどの状況を把握し、管理職や対象メンバーとつながりの深いメンバーに素早くフォローを依頼することができるので離職防止や人材定着につながります。

よくあるご質問

Q. 本当にメンバー同士のつながりがきちんと可視化されるのですか？

利用開始2ヶ月目からデータが反映されます。管理職や従業員がつながりデータを最大限に活用するためには、**組織構造に沿った部署登録をしていただくことが重要**ですので、ご協力をお願いいたします。

Q. 管理職から「どう活用したらいいのかわか」と相談があったのですが…。

管理職がメンバーの成長支援やフォローに活用できる状態をつくるために、まずは管理職に機能のメリットや活用法について学習いただくことが重要です。**事前に事務局から管理職へ、「管理職向けつながり機能活用ガイド」の配布**をお願いいたします。

Q. 機能追加したのに従業員に気づいてもらえていないのですが…。

従業員の皆様に機能を認知いただくために、**社内連絡ツールや「管理者お知らせ」にて機能・利用方針を周知**しましょう。

Q. 管理者のみにメンバーのつながりデータを公開することはできますか？

メンバーのつながりはメンバーの権限や部署に関わらず、**すべてのメンバーが自身や自部署メンバーのつながりを閲覧できる機能**です。人事だけでなく、現場の管理職や従業員が活用し、現場の行動が変わることで組織変革が進みます。

詳しい機能内容については下記よりご確認ください。

- 管理者向けのメンバーのつながり機能設定方法や
利用に関する注意点はこちら

[\[管理者向け\]メンバーのつながり機能](#)

- メンバーのつながり機能の使い方や
詳しい仕様はこちら

[\[一般向け\]メンバーのつながり機能](#)

こんなことに悩んでいました...

どの部下にも偏りなく
日々称賛できているか
個人の感覚に頼っている

部下のモチベーションを偏りなく上げたいが、感謝・称賛が全体に行き届いているかは管理職個人の感覚頼りになっている。結果、称賛が偏り部下のモチベーションの高さにもムラが発生してしまう。



導入企業 F社様
(従業員数：100～299名)

フィードバックの偏りを 管理職が定量的に把握し マネジメント改善を実現！

管理職自身が感謝・称賛のフィードバック状況を定量的に振り返り、つながりが弱い部下に先回りでフォローできるようになった。その結果、「チーム全体を見てマネジメントしてくれている」とポジティブな声が増えた。



ここがポイント！

1. 自分とつながりが弱い部下を把握

管理職自身の月次振り返りとして、つながりデータを参照。特定のメンバーだけつながりが弱くないか（＝日々の頑張りを承認できていないか）を確認。

2. 該当部下とつながっている人と対話

日々の頑張りを捉えていない場合、その部下とつながりが強い人・新しくつながった人と対話し、先月部下が行った隠れた貢献をキャッチアップ。

3. 隠れた貢献について意識的に称賛

ポジティブなフィードバックが不足していた部下に「最近〇〇さんと連携して頑張ってたね」など具体的な貢献について、面談でアイスブレイクに活用したり、改めて感謝・称賛の気持ちを伝えたりする。

Uniposでこれやりました！